

A historical map of AGA 呉市阿賀町の歴史マップ

阿賀のまちを みてくれんさい

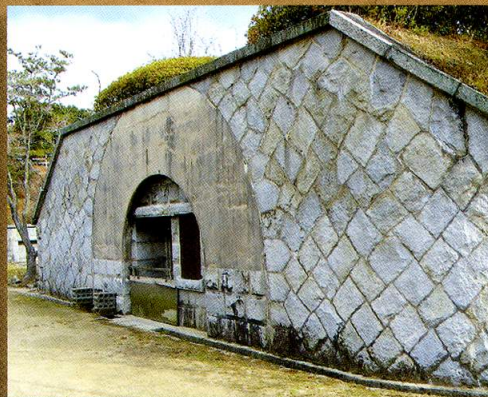


絵巻物「浦島測量之図」(宮尾昌弘氏所蔵、寄託先:呉市入船山記念館)

…1806年 伊能忠敬(いのうただたか)が阿賀地区を測量している所を描いたものです。



お漕船



大空山 旧兵舎



神田神社大太鼓

阿賀に残る伝承・伝説

こぎぶね 【お漕船】

宮島の管絃祭は、宮島厳島神社で十日間にわたり繰り広げられる瀬戸内海を代表する海の祭りです。平安時代、貴族たちは池や河に御座船という船を浮かべて管絃の遊びをしていましたが、管絃祭はそれを海上で行うもので、平清盛が信仰する厳島神社に移され、神事として行うようになったと言われています。

1701年の管絃祭で、激しい風雨に見舞われ、転覆しそうになった御座船を阿賀村の岡野喜右衛門と、江波村の古川屋伝蔵が救いました。

この遭難の体験により、管絃船に漕船を付けることになり、阿賀村と江波村がこの名誉ある役目を仰せつけられました。



【写真提供：中国新聞社】

かぶとやまかんのん 【兜山観音の火祭り】

平清盛の家来と町娘が恋に落ち兜山の寺屋敷に隠れ住みましたが、その後、源氏の追手に攻め込まれ、二人は兜山の裏手にある淵に身を投じてしまいました。江戸末期に西延崎町の住人が寺屋敷の畑で休憩しようとしていると「ここを掘ってくれ」というお告げがあり、八手の観音様を掘り当てました。それを休山山麓に御堂を建ててお祀りしたのがこの観音堂と言われています。

今もなお町民の信仰が厚く、毎年8月17日には松明を掲げ延々長蛇の火の列をなして参拝していましたが、近年は火災予防などへの配慮から明るいうちに参拝を行うようになりました。



うら ちさく 【お浦と治作】

昔、情島に治作という若者がおり、海の向こうの波多見(呉市音戸町)へにぎやかな盆踊りを見に行ったら、美しい娘お浦と出会いました。それから毎夜のように舟を波多見に漕ぎ寄せて、二人は会うようになりました。そのことが波多見の村の若者達に知れ渡り、よそ村のものと恋をしてはいけないというきつい村の掟を破っ

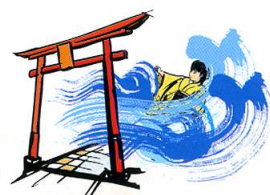
たため、治作は村の若者達に海に突き落とされて亡くなってしまいました。これを知ったお浦も間もなく治作の後を追って海に飛び込み亡くなってしまいました。今この海岸を「お浦の崎」と呼び、二人の冥福を祈って「比翼塚」という墓が建てられています。



まつ おみょうじん 【松尾明神】

今からおおよそ400年前、賀茂郡黒瀬村城主の娘お松は大雨に襲われ洪水で前小倉(今の先小倉)へ流され亡くなりました。阿賀の漁師が亡骸を見つけましたが、身元が分からず無縁仏として葬りました。後になり、身元が分かったので、お松の霊を弔うために明神

様を建てて祀りました。それが「お松明神」です。「松王明神」とも称しました。その後、小倉新開が埋め立てられ、1820年頃お松明神は今の場所へ移されました。現在は「松尾神社」となっています。



【阿賀の地名の由来】

阿賀の南端延崎に松の大木があり、沖合を航行する船の目標として加賀松(かがまつ)→「かがつ」と呼んでいた。

10世紀頃に安芸国賀茂郡香津(かがつ)という村落名の記録があり、それがいつの頃か加賀(かが)→阿賀と呼ぶようになったとされている。

香津(かがつ)→加賀(かが)→阿賀(あが)



現在の延崎付近

阿賀地方の方言 (阿賀地方だけでなく、芸南地方で使われる方言です)

ことば	意味	ことば	意味
あがいな, あんとな	あのような	あぐ	飽きる
あずる	苦労する	あらまし	荒っぽい
あんきな	心配がない	いたしい	難しい
いがる	叫ぶ	いぬる	帰る
いなげな	変な	ぐべんしゃ	金持ち
いびせえ	恐ろしい	ごうをいる	四苦八苦する, 迷惑をかけられる
おごうさん	奥さん	さくれる	ふざける
こんな, あんな	この人, あの人	しったげな	知ったかぶりな
さかし	逆さま	しんきな	退屈な
さら	新しい	たご	桶(おけ)
しわい	けち, 手ごわい	とうがき	イチジク
たう	届く	のる	背を伸ばす
つばえる	ふざけて騒ぐ	はぶてる	ふてくされる
にがる	痛い	へんくう	へんくつ
はがいい	悔しい	へちゃげる	つぶれる
へぐ	はがす	みてる	無くなる
ほうとくない	だらしない, けじめのない	むつこい	油っこい, 味が濃い

郷土料理について

煮ごめ(のっぺ)



小豆, 大根, にんじん, ごぼう, れんこん, 里芋等の野菜に, しいたけ, 油揚げ, こんにゃくをさいの目切りとし, 鍋に入れあくをとりながら軟らかくなるまで煮て, 醤油, 砂糖を少々入れ煮含める。御逮夜に食べる精進料理。

サツマ汁



コノシロという魚を焼いてすりつぶし, みそで溶いて汁にし, ご飯にかけて食べる。きざみネギやコノシロの刺身をのせていただく。

阿賀の特産品

阿賀は土地が狭く, 田畑の収入も比較的少ないかわりに, 漁業による海産物の収穫がありました。明治31年に町政を施行した頃は, 漁網製造が盛んで麻糸・清酒・醤油の製造, ブドウ・モモ・ナシ・ミカンなどの栽培も行われ, 町財政は裕福でした。現在は, 農地はほとんどなくなりましたが, カキの養殖が行われています。



① みついで 三ツ池

以前、大坪谷公園辺りに呉越池、大坪中池、大坪大池という池があって、「三ツ池」と呼ばれていた。この辺りは、舟木郷と呼ばれ、阿賀一村を潤す水の源であった。今は埋め立てられ記念碑がある。



② ほうとくじ 宝徳寺

本尊は阿弥陀仏立像で京都西本願寺の直属となる真宗本派本願寺派。元は寂城寺と称し禅宗で阿賀町の越畑にあったが、15世紀頃真宗に改宗し現地に移転された。



③ あが 阿賀のサルスベリ

大谷川沿いの民家の庭に、高さ7メートル、幹周りは13メートルの大きなサルスベリの木があり、呉市の天然記念物に指定されている。この家が建てられた140年前にはすでに大きく育っていたと言われている。8月上旬にピンクの花をつける。



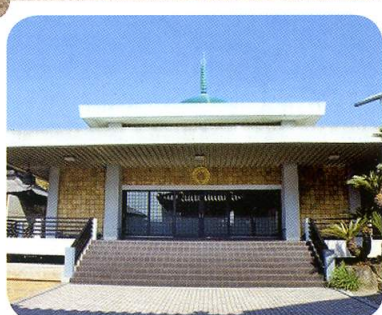
④ ほうどうじ 法幢寺

本尊は薬師如来でこれは慧信僧都の作と言われている。以前この寺があった地は字寺屋敷と呼ばれている。18世紀初頭に禅宗から真宗本派本願寺派となった。



⑤ あがちゅうおうこうえん 阿賀中央公園

休山トンネル建設に伴い、平成12年に阿賀南に移転した阿賀小学校跡地。阿賀小学校は明治10年の創立で、珍しい円形校舎があった。公園内には、平和の碑も建立されている。



⑥ さいこうじ 西光寺

本尊は阿弥陀仏立像で真宗本派本願寺派。元は天台宗大空山浄正寺と称し東浜にあったが、17世紀初頭に真宗に改宗し西光寺と称した。広村に説教所を設置した。



⑦ かんだじんじや 神田神社

16世紀初頭に源盛勝が神殿を神達の峯に建立したとされている。祭神は仲哀天皇(チュウアイテンノウ)、応神天皇(オウジンテンノウ)、神功皇后(ジングウコウゴウ)の三神。神達の名前は応神天皇が九州からの帰還の際に当社へ立ち寄られたとの由来から。初め神達八幡宮と称していたが、明治5年に神社に改称された。例祭は、毎年9月23日である。



⑧ かんだじんじやえましや 神田神社絵馬・社そう

徳川中期以降の絵馬が約60点あり呉市の有形文化財に指定されている。社そうは市街地としては珍しく常緑樹のよく繁茂している森で、呉市の文化財指定を受けている。



⑨ えびすじんじや 胡神社

1630年に建立され、当時中町は胡町と称されていた。祭神は縁結びの神である大己貴命(オオナムラノミコト)。例祭は、毎年11月20日に行われる。



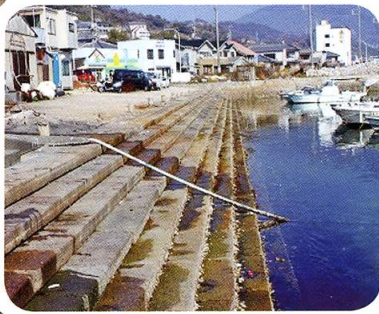
⑩ しょうみょうじ 称名寺

本尊は阿弥陀仏立像で真宗本派本願寺派。元は禅宗であったのを真宗に改宗され、中町に寺を建立した。後に西本願寺直属となった。称名寺再建の記念碑が境内にある。



⑪ すみよしじんじや 住吉神社

祭神は住吉三前神で、祭日は旧暦の6月29日(宮島管絃祭の前日)。阿賀のお漕船が、宮島の管絃祭に赴くときに、この神社へお参りして行くことになっている。



あ が こう がんぎ
12 阿賀港の雁木

雁木とは階段状の船着場。岸壁と違って、潮の満ち引きや河川の流量変化による水面の上下に係わらず昇降や荷役が出来るため、近代以前の船着場で多く見られる。現代では浮棧橋が設置されるため、雁木が設置される事は少ない。



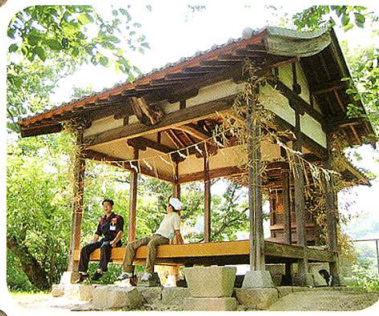
おおぞらやまこうえん
18 大空山公園

標高184mの「大空山」山頂にある公園。旧海軍の砲台跡地で、阿賀や広、横路など呉市東部の街並みが一望できる。園内には1,200本の桜があり市内の名所の1つになっています。また呉市青少年教育施設「大空山青年の家」がある。



こぎぶね
13 お漕船

旧暦6月17日に行われる宮島管絃祭の前々日、御座船をひく阿賀地区の「お漕ぎ船」が出航します。地元では「トンテコトンのお祭り」と呼ばれています。



りゅうおうしゃ
19 龍王社

龍王山の山嶺に祭神・風神級長津彦命(シナガツヒコノミコト)、雷神高霊命、水神圓象女神を祭っている。この龍王山には昔城が築かれており、麓の住民は龍王山の呼び名を訛って「ジ王山」と呼び伝えている。



ほうえいしんがいきいせい せきひ
14 豊栄新開経営の石碑

旧藩時代の阿賀は公有地が多く耕地は狭かったので、海浜の埋め立てが行われた。1854年、豊栄新開37町歩の埋め立てが行われ、それに貢献した人々の名を記した記念碑が明治4年に建てられ、現在は豊栄公園内に移設されている。



かぶとやまかんのん
20 兜山観音

江戸末期に西延崎町の住人が八手の観音様を掘り当て、それを金屋敷(休山山麓)に御堂を建ててお祀りしたのがこの観音堂と言われている。今もなお町民の信仰が厚く、近隣の住民が参拝を行っている。



まつ お じんしゃ
15 松尾神社

元は松尾明神と称し、東浜にあったが、1820年頃に今の地に移された。河水支配・海上守護・漁獵保護の神が祀られている。例祭は毎年10月25日前後の土日。



だいにゅうじんしゃ
21 大入神社

祭神は、五穀豊饒の神と平広盛の霊を祀り、祭日は陰暦の4月7日と9月7日。神田神社の摂社となっている。



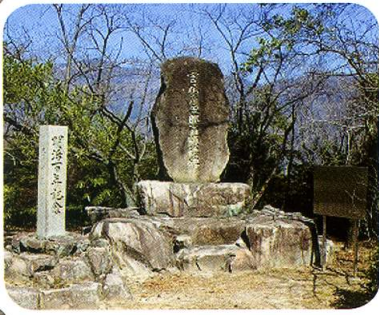
してんしゃ こあと
16 市電庫跡

昭和2年に呉～阿賀間を結ぶ電車が日本で6番目、広島県で最初に開通した。昭和42年廃止。変電所と車庫のあった地にモニュメントが建立されている。



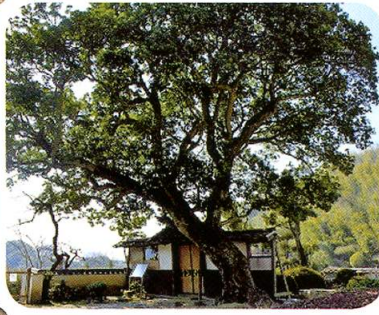
かぶらさきじんしゃ
22 冠崎神社

1636年に建立した。河水支配・五穀豊饒の神が祀られている。食物の神祭日は、4月6、7日と9月6、7日。神田神社の摂社となっている。



みや おひごころう せきひ
17 宮尾彦五郎の石碑

宮尾彦五郎は19世紀初頭に阿賀の庄屋を勤め、近隣の13か村の庄屋を兼ねた。墾田を開発し、塩田を築き、生活に困っている人を救い、産業開発に生涯をかけ尽くした。その記念碑が大空山登山道中腹の平和の庭の中に立てられている。



かぶらさき
23 冠崎のヤマモモ

阿賀南の休山山麓高台に、高さ15メートル、幹周り2.5メートルの大きなヤマモモの樹がある。4月頃開花し、初夏に実が熟す。樹齢300年と言われ、県内でもまれにみる大木で、現在も生育が旺盛である。

阿賀の歴史年表

西暦	年号	出来事
930年	延長8年	倭名類聚抄に香津(かがつ)の地名が現れる。
1112年	天永3年	香津浦の神経山(こうふるやま)に(神達八幡)(後の神田神社)社殿建立とある。
1451年	宝徳3年	寂成寺が禅宗から真宗に改宗して宝徳寺と改称。
1554年	天文23間	檜垣肥前守阿賀の地を領す。
1572年	宝暦2年	阿賀の名産として、スリエビ、デビラ、ニボシ、カマボコなどの水産加工品が知られる。
1590年	天正18年	禅宗の積蔵寺が真宗に改宗し、後に称名寺と改称。
1619年	元和5年	浅野藩領主からに渡された知行帳に阿賀880石と記されている。(広1018石)
1624年	寛永元年	松尾明神建立する。
1629年	寛永6年	大空山浄正寺が天台宗から真宗に改宗され西光寺と改称。
1630年	寛永7年	中町に社を建て胡神社と称す。
1636年	寛永13年	松尾惣平が現在地に冠崎神社を建立して祀った。
1649年	慶安2年	2月19日の地震で阿賀村の人家850戸の内大半が被災する。
1654年	承応3年	藩より大情島に馬10頭が放牧され、阿賀村から3軒が移住した。
1701年	元禄14年	厳島神社管弦祭で阿賀村の漁船が管弦船を救助した。
1721年	享保6年	禅宗の法幢寺が、真宗に改宗。
1732年	享保17年	阿賀村でうんかが大発生し不作となり飢饉が発生した。
1806年	文化3年	伊能忠能が阿賀村を測量。
1809年	文化6年	小倉新開が築調された。(31町歩余)
1854年	安政元年	豊栄新開が築調された。(30町歩余)
1903年	明治36年	大空山に陸軍の砲台が据えられ砲台山と呼称した。
1912年	明治45年	電力供給が開始。
1927年	昭和2年	芸南電気軌道(株)経営による市街電車が呉～阿賀間開通した。
1928年	昭和3年	阿賀・警固屋・吉浦の3町が呉市に合併豊栄新開に芸南電軌(株)経営による遊園地が開設。
1933年	昭和8年	国鉄休山トンネル貫通する。

西暦	年号	出来事
1935年	昭和10年	3月 呉線の呉～広間開通。 11月 呉線全線開通(呉～三原間)。
1937年	昭和12年	第一製砥(現ディスコ)豊栄新開に設立。
1945年	昭和20年	空襲により西光寺、原・郷の民家が焼失する。 8月 終戦。 9月 枕崎台風により呉市で死者1154名。
1947年	昭和22年	阿賀中学校設置。
1950年	昭和25年	先小倉遊園地を豊栄新開の大川沿いに開設する。
1954年	昭和29年	広島県立呉ろう学校開校。
1955年	昭和30年	台風22号により豊栄新開が決壊し家屋1753戸が浸水した。
1964年	昭和39年	阿賀一堀江間フェリーが就航。国立呉工業高等専門学校開校。
1966年	昭和41年	大空山青年の家開所。
1967年	昭和42年	呉市街電車廃止。
1969年	昭和44年	阿賀村時代からの古文書が呉市の文化財として指定される。
1970年	昭和45年	呉線電化開通。
1971年	昭和46年	豊栄交通公園開園。
1986年	昭和61年	呉女子短期大学開校。
1995年	平成7年	呉大学開校。
1996年	平成8年	広島呉道路(クリアライン)全線開通。ひろしま国体開催。
1998年	平成10年	呉豊栄高等学校が呉高等学校に校名変更し、総合学科に移行。
1999年	平成11年	集中豪雨による災害発生。
2000年	平成12年	県立総合技術研究所西部工業技術センター、呉地域産業振興センターオープン。
2001年	平成13年	芸予地震発生、震度5強。
2002年	平成14年	国道185号休山新道開通。呉市制施行100周年。
2006年	平成18年	JR安芸阿賀駅新駅舎と自由通路の完成。阿賀マリノポリス竣工。
2007年	平成19年	広島県立広島南特別支援学校呉分校に校名変更。
2009年	平成21年	広島文化学園大学開校。阿賀一堀江間フェリー廃止。
2010年	平成22年	大空山山頂東屋(ひだまりの丘)落成。

参考文献：「地誌 阿賀町」 田村信三編集 昭和60年5月発行ほか。

発行：阿賀まちづくり推進協議会

広島県呉市阿賀中央6丁目2-16 呉市阿賀市民センター内
TEL 0823-73-5252 FAX 0823-71-5571
URL <http://agamachi.town-web.net/>

阿賀観光協会

編集：阿賀歴史文化研究会

平成22年12月